

# 第9回神戸マラソン 被災地交流事業 報告



参加者: 2年生男子4名 女子4名 計8名 引率教員 3名

1日目 11月15日(金)

☆仙台空港 10:25 出発 神戸空港 11:55 着☆

☆13:15~13:30 弘済会を訪問☆

神戸市の弘済会を訪問し、第9回神戸マラソンオープニングセレモニーにご招待いただいたことの御礼とごあいさつを申し上げます。いよいよ2泊3日の神戸での交流活動がスタートします。



☆14:10~15:30 神戸市内中学校との交流会(本多聞中学校)☆

神戸市立本多聞中学校を訪問しました。本多聞中学校のみなさんからは、歓迎の合唱を披露していただきました。その後、長町中からスライドを使った学校紹介と、8人で合唱を披露しました。本多聞中では、神戸と仙台をつなぐ書籍なども展示していました。最後に、代表生徒と記念撮影を行いました。短い時間でしたが、お互いの「絆」が深められた交流会になりました。



☆16:00~16:15 明石海峡大橋見学☆

明石海峡大橋（あかしかいきょうおおはし）は、神戸市と淡路島とを結ぶ世界最長の吊り橋です。全長3,911 m、中央支間1,991 mの長さを誇ります。社会の授業でも登場する立派な橋に驚きました。ここではみんなで記念撮影を行いました。



## ☆16:45～17:30 仙台・神戸フレンドシップコンサート☆

### 仙台市立長町中学校



今年で創立70余年の歴史をもち、生徒数は現在844人。仙台市内で生徒数2番目に多い中学校。生徒会・部活動・ボランティア活動等がたいへん盛んな学校で、合唱部をはじめとして、文化部、運動部ともに各種大会・コンクールにおいて東北大会や県大会に多数出場し、好成績を残している。

### 進行：前澤 弘明



アカペラグループ「チキン ガーリック ステーキ」バリトン担当。  
第8回神戸マラソンフレンドシップランナー。  
■「チキン ガーリック ステーキ」レギュラーライブ  
In 神戸煉瓦倉庫 K-wave (神戸ハーバーランド)  
毎週水曜日 開場/19:30 開演/20:00  
公式サイト：<https://cgs.jp>

 第9回神戸マラソン 被災地交流事業  
仙台から長町中学校の生徒がデュオこうべに来訪！

## 仙台・神戸 フレンドシップコンサート

令和元年11月15日(金) 17時～

- 1.仙台市立長町中学校校歌
- 2.仲間とともに
- 3.しあわせ運べるように
- 4.やさしい風
- 5.わせねでや
- 6.Tomorrow

(上の写真は「仙台×神戸フレンドシップコンサート」当日のパフレット)

1日目の大きな行事である「仙台×神戸フレンドシップコンサート」が、神戸市デュオこうべの浜の手デュオドームにて行われました。出演は生徒8名のほか、伴奏者として木下真理子先生、進行役としてアカペラグループ「チキンガーリックステーキ」バリトン歌手の前澤弘明さんが進めていただきました。長町中校歌のほか以下の曲を披露しました。

- | 曲目 |                             |
|----|-----------------------------|
| 1  | 仙台市立長町中学校 校歌                |
| 2  | 仲間とともに(仙台市 故郷復興プロジェクト復興ソング) |
| 3  | しあわせ運べるように(神戸市 復興と希望の歌)     |
| 4  | やさしい風                       |
| 5  | わせねでや                       |
| 6  | Tomorrow                    |

会場には、約300名が集まり、計6曲をストリートピアノの伴奏で披露し、長中生の歌声に聴き入っていました。中には涙を流して聴き入っている方もおり、歌の力が多くの方々に元気と感動を与えるものだと実感できたコンサートになりました。アンコールの拍手もいただき、最後は「いのちの歌」を披露し、神戸市のみなさんから心をこめた歓声と大きな拍手をいただきました。



2日目 11月16日(土)



### ☆10:00~12:00 神戸市立鷹匠中学校と合同練習会☆

11月17日(日)は、神戸マラソンスタートセレモニーにて、長町中学校と神戸市立鷹匠中学校が合同で、阪神淡路大震災からの復興を願い作曲した「しあわせ運べるように」を合同で歌う予定です。明日に向けて両校の顔合わせと自己紹介を行いました。長町中からは、今回招待いただいたことへの御礼と、仙台市や長町中の紹介を行いました。その後、合同で「しあわせ運べるように」の練習を行いました。なお、両校の交流の様子について、11月18日(日)の神戸新聞朝刊に以下の記事が紹介されました。

スタートセレモニーで合唱を披露  
仙台・長町中と神戸・鷹匠中

本番向け合同練習

17日の神戸マラソン（神戸新聞社など共催）のスタートセレモニーで、阪神・淡路大震災から生まれた歌「しあわせ運べるように」を合唱する仙台市立長町中学校と神戸市立鷹匠中学校（同市灘区高徳町2）の生徒が16日、同中学校で合同練習に臨んだ。

神戸マラソンでは被災地交流の一環で被災地から児童生徒を毎年招き、合唱などを通じた交流の機会を設けている。仙台市内で2番目に生徒数の多い長町中は、東日本大震災で津波被害は免れたが、校舎や体育館が壊れた。

鷹匠中からは合唱部の23人、学校活動として合唱が盛んな長町中からは校内で選ばれた生徒8人が参加し、歌声を響かせた。練習の間には、互いの学校生活について語ったり、用意した合唱曲を送り合ったりし、心を通わせた。

普段は水泳部に所属する長町中2年中村晃蛇君（14）は「震災の重みもかみしめながら、復興へ向かう元気を強さをランナーの皆さんに届けたい」と意気込んだ。

鷹匠中合唱部部長の尾上優芽さん（13）は「被災地の中学生同士がつながれる貴重な機会なので、精いっぱい頑張りたい」と話した。スタートセレモニーは17日午前8時40分から、神戸市役所前である。（竹本拓也）

### ☆13:00~16:30 神戸市内見学☆

午後からは、明日の本番に備えての調整を兼ね、社会科の授業で習った神戸市の特色や復興の様子について、自分たちの目で実際に学習する時間をとりました。神戸市が平安時代から交通の要所として港町として栄えた理由や、江戸時代の末から外国人居留地として栄えた地域など三ノ宮地区を中心に見学しました。また、神戸 EXPO 会場なども見学しました。



(開港直後の神戸港の写真)



(現在の外国人居留地の様子)



(丘の上から神戸市内を望む)

3日目 11月18日(日)

## ☆8:30～ 神戸マラソンスタートセレモニー☆

いよいよ最終日、神戸マラソンスタートセレモニーを迎えました。ホテルを出発し、8:30から行われるスタートセレモニーに参加しました。

神戸マラソンの紹介・・・「今回で第9回を迎える神戸マラソンは、震災後25年の節目に開催する大会です。「感動と友情」をキャッチフレーズに約20,000人のランナーが神戸の街を駆け抜けます。そして、このマラソンは阪神淡路大震災の際に国内外のみなさんから温かい励ましに対する「感謝」の気持ちを表す大会です」・・・。

会の最初に阪神淡路大震災、東日本大震災、その他の自然災害で亡くなられたすべての方へ鎮魂の思いを込めた黙とうを捧げました。その後、国内外のトップマラソンランナーの紹介を経て、「しあわせ運べるように」の合唱と続きました。長町中生8名と鷹匠中23名が合同で「しあわせ運べるように」の合唱を披露しました。指揮は、この曲を作詞・作曲した臼井真先生自らとってくださいました。そして、曲の終わりにはランナーのみなさん、ボランティアのみなさんが着用した黄色のひまわり手袋で両手を大きく広げ、大輪のひまわりが見事に咲きました。会場からは合唱を終えた両校の生徒に惜しみない拍手が湧きあがりました。復興と感動・友情をテーマにした神戸マラソンのスタートにふさわしい、すばらしい合唱になりました。ランナー達も一緒に口ずさんでいたのがとても印象的でした。



(両校の合唱の様子)



(スタートの合図)



(ひまわり手袋で記念写真)

## ☆12:15～ 長町中学校へ感謝状贈呈式☆

会の終わりに、長町中学校へ感謝状贈呈式が行われました。東日本大震災の被災地・宮城県から参加した本校に対する感謝状です。はじめに、神戸新聞社代表取締役高梨柳太郎社長からの贈呈、続いて朝日新聞社代表取締役大阪本社代表藤井龍也様から、それぞれ感謝のこたばを



いただきました。私達長町中は、御礼の意味を込めて「Tomorrow」を合唱しました。その後それぞれの

新聞社から感謝状を頂いた後、長町中を代表して2年佐々木陸大君からこの3日間への感謝の気持ちをこめてあいさつを行いました。



この3日間を通して感じたことは、「神戸の方々には震災を忘れていない」こと「今も復興に向けて心をひとつにしている」ことです。私達被災地の宮城県を代表して訪れた際にも、東日本大震災のことを神戸の方々には忘れず、震災について共感を持っていることです。私達も被災地・宮城の一員として「復興とは何か」「私たちはこれから何をすべきか」という問いを改めて考えさせられた3日間になりました。今回の被災地交流事業を支えていただいた全ての方々に感謝申し上げます。